

【刊夕】日六月二十



價五錢郵錢十五月一 錢貳金部一 價九
錢十五行一 詰字三十號五 料告廣
治 文 崎 川 人 刷 印 人 輯 編 兼 行 發
五 三 町 崎 長 町 平 郡 城 石 縣 烏 福
番 〇 三 六 話 電 社 聞 新 日 每 警 常 所 行 發
社 會 式 株 刷 印 日 每 警 常 所 刷 印

新年文藝懸賞募集

初紙を飾る
宛名 本社文藝部
締切 十二月廿日
用紙 官製はがき

和歌 『山』 一人各三首限 高久晚霞氏選

俳句 『春着』 『若菜』 一人各三句限 渡邊何鳴氏選

童謡 『正月』 二人各一篇 川崎小鳥氏選

詩 隨意 二人各一篇 片寄歌二氏選

短歌 『光』 一人各五首限 白木英尾氏選

●投書には『新年文藝』と種目とを必ず明記すること
●入賞者を一名 二等二名 三等三名に分ち各賞品を呈す

ゴースト

この頃は歌を作るにしても何かを書くにしても雑誌或は新聞の締切間際にならなければどうも手につかない

動かしてゐるのだ、然しこれは私ばかりでないと思ふ。総ての人が凡ゆる人が時間に動かされてゐる世の中なんだと思ふ。
そこへいくと昔の人達は呑気だつた、だから喋舌る事ものんびりしてゐたに違ひない、少し談議が長くなる。とそこで初めて「日も経つほどに」とやつたもんだ、「時間」といふ字句があつたかどうか、これからがして第一調べねばなるまい、そんな時代に作られた歌を今でも真似して「けるかも」とやつてる偉い人たちは一体何を考へてゐるのだらう、思ふと誠にオカシナ話である。
×
關井井岳の梵鐘が新らしく取改へられてこの頃は殊によく聞える、風の強い日には波を打つやうに唸つて聞えるが天気明朝の日にはおとなしく澄んで聞える、あの重い音色を聞いて私達の年輩ではどうといふ感じが起きない、これでは人生観だつてほんとに徹底しないだらうと思つた。
(白木生)

毛糸と編物用具は

ハシモトヤ
優等百合印毛糸 高級霜降毛糸
優等中細毛糸 優等極細毛糸
スコッチ毛糸 英國製毛糸
平町田町 ハシモトヤ糸店

外科

性病科 科
X光線科 科
入院隨意

平町田町(赤心堂〇院跡)
安齊外科醫院
電話四七五番

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

ヨウ！モータン！
いゝ服を求めたね
断然三〇年型だよ
イヤコレカネ
例の……「ソレ」

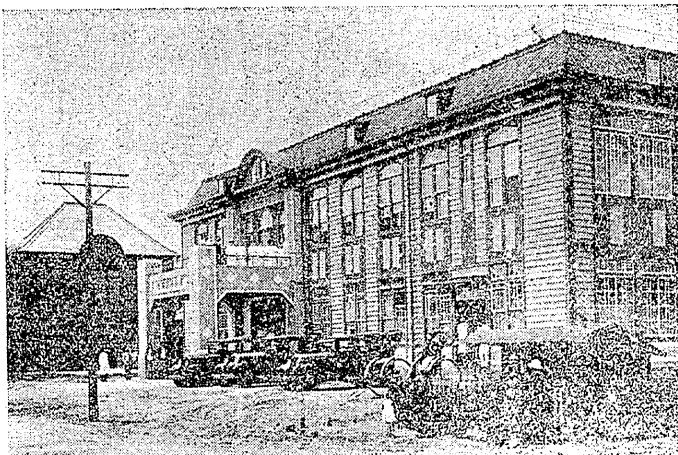


六三四電通場車停車場四町平

磐城共済病院案内

本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通低減致候間御参考迄申上候
入院料 一日(本會員) 金貳圓也
金壹圓五拾錢
往診料 院長及其他の(本會員) 金參圓也
金貳圓也
尚地方往診も之に應じ低減致候間此段申添候
(平町 内)

- (各科専門) 醫擔當
内科 小兒科
皮膚泌尿科 整形外科 内臓外科
産婦人科 女子泌尿科
耳鼻咽喉科
X光線科 物理學的診療科



院長 醫學博士 難波 睦
本院主 管 賀澤 忠治

衛生試驗所 病氣相談所 救療所 共済病院内

救療申込る方は當相談所へ御話し下さる
昭和五年九月

磐城共済會

平町 電話六四一番

看護婦募集

欠損は明かたが すててられぬ養蠶

肥料資金に窮した結果 桑葉の減収を憂慮さる

米は七圓、繭は一圓五十錢といふ慘澹たる不景氣に農村の疲弊はその極度に陥つてゐるが注目されるのは郡下養蠶の來年度の生産額である、即ち今日の農村は米繭の極端な

安値に あへぎながらも他に収入の途なく主力を米と繭の生産に傾けるので生産費以下の繭相場にも抑らずこれを放棄すれば忽ち生活に窮する實状にあるので缺損を覺悟しながらも掃立を減ずるものなく現に桑園を廢するもの皆無の状態であるが一面

米繭安の結果は肥料資金に窮することとなり且金肥を使用して養蠶をすることは到底採算不可能の結果となるので來年度においては甚だしい桑葉の減収を來すべきことが當然であると見られてゐる、いま假りに郡下の養蠶家が來年度の施肥を五割以下に低下するとすれば同面積の桑園にて二割以上の桑葉收獲不足となり

前年度の掃立より二割を減しなければならぬ結果となつて若しこの結果を無視して掃立を節減せぬ場

合は投資若くは食不足の蠶兒を生ずることになるものと憂慮されてゐる

女青總會延期

舊正月頃に

石城郡内聯合女子青年團及び同郡第三區内聯合女子青年團總會は何れも年内に開催する講演を行つた

差押へは昨年の倍

執達吏役場が大多忙

歳末を控へた平町執達吏役場は差押へ處分の増加に大多忙を極め昨年中の件数は三百二十件であつたが本年は既に四日までに六百十二件に達し昨今は一日々々と増加してゐるといふ状態です。不況にあへく世相を如實に物語つてゐる

保健体操を

普通學課に

平第一校で

平第一小學校では國民保健体操を一般生徒に對し試みてゐるが準備整ふたので近く普通學課として授ける方針である

田町震災寄附

田町區では豆相震災義損金

既に七分通り

縣稅滯納整理

平町に於ける本年度前期縣稅滯納者は延人員一千人稅額六千圓に達してゐたが縣稅務出張所員が鋭意整理に努めた結果既に七分通りの納付を見た

行旅病者收容

平町仲町街頭に五日午前七時頃病者に悩んでゐる女を平署員が発見町役場に引渡し行旅病舎へ收容したが新潟縣生れ無職見玉さく(五)であると

川部村長改選

石城郡川部村長見玉万平氏は來る八日任期満了するので同村では七日村會を召集後任村長の協議をなすが同村は政民兩派の軋轢が猛烈を極めてゐることゝて當日の村會は可成り紛糾するものとみられてゐる

人氣を沸かした

上坂氏の屋號懸賞

惠比壽講當日發表

主催にて廣く一般より募集したが可成りに人氣を沸騰せしめたものゝ如く特に趣向をこらした惠比壽講が豫想外の多數に及眞に屋號として理想的なもの多く上坂氏も非常の満足にて是れが發表は來る九日が惠比壽講に相當し然も同日は大安の吉日である爲此の日をトして當選者に感謝の誠を披瀝したいとの事で發表は同日迄延期したがとして何人の

平町人事

命名せる屋號が當選したか御期待を乞ふ

△出 生
△鎌田町二一 松崎八郎氏長女泰子
△柳町三 有賀高藏氏長男高明
□ 死 亡
△北目町八九 赤羽信(六)

正確な体温計
寒暖計
電話四〇番

平町の 歲末狂騷曲

(四)

歳末氣分をほんとうに濃厚にするのは郵便局と看板屋である。我が平ポスト、オ

フェスでも例に依つて年賀特別取扱の立看板を大衆の面前にお立てし、もう十五名余り臨時雇員もちやんと手管がきまつて腕をならして待つてゐると云ふ。

一方看板屋君このスピード時代に一人スピード振りを發揮してゐる、まるで阪妻の立廻りよろしくいくらなり書きしても間に合はずインクの雫の垂れてゐるのもかまはず車についで運でやらないとお客に叱られると云ふ景氣だ、この商賣にかぎつて不景氣歳末でも忙しいと云ふわけ何と幸福なる看板屋君よ

藤沼醫院

科病柳花・科兒小・科内

應需院入

平町電話 七〇五番

御待ち兼ねの別府淋藥が着荷致しました、リン病やコシケに苦まる方は一日も早く試して全快のよるこび見て下さい

無効返金藥(二日のんでキ、メなき時)無効返金證

岩里リン病 別府淋藥 服用者大好評

別府温泉で名高い岩里家の家傳秘藥

人迷はせの賣藥の如き中に別府市中濱(岩里天然堂大藥房發賣)のリン藥は古來家傳秘藥にして男女血ウミ痛、コシケ、消渴、二日で止り連服するも絶對胃腸障害なき名藥である、尙同藥は責任ある速効藥にして二日内服効なき時は殘藥引替に全部異議なく返金(急性慢性悪性治らぬ人は七日のまれよ申込次第新品送藥す)

淋病治療書數士眞の美本無代進呈

藥價(總) 慢性頑固惡性用(赤箱)一週分五圓 慢性頑固惡性用(黒箱)一週分參圓

一手特約店 阿康藥舖

新年賀用

御名刺とハキ

電話三六〇番

常警日印刷株式會社

警察官が

不正品の取締

客に化けて

酒や醬油の投げ賣りに
餘程眉唾のものが多し

暮れに入つて不景氣の深刻化は一層加はつて來た、こんな時には何でも廉賣、投賣、割引、奉仕でなければならぬとて商人はそれらの看板と

宣傳に

依つて商品賣つて居るが捨賣投げ賣りを看板にして不正品を賣るものもあり實際安價に賣ることの出来る品物を特に割引してゐるが如く客を欺

伊豆名産と稱し

セ油を賣る

相手に依つて

出鱈目な値段

近來平地方へ油賣の行商人が入込んで主人不在の家庭をねらつて訪問し「伊豆名産の椿油」と稱して

礦油に

香氣を附した價にしたら一合十錢位のもの一升一圓乃至二圓と云ふ相手に依つて出鱈目な値を吹きかけて賣付けてゐるが香氣さへ高くあればとの單純な考へからして此偽油を買入れる婦人連中こそ少くはない様で現に某中等學

ず非常に漁況、連日三百貫内外の鱒、鯛、サハラ等の漁獲を揚げ濱では大喜びだが是が相場は鱒十、鯛二十五、サワラ二十五掛見當で來る九日の惠比須講には一層値上りをみる模様である

水道栓凍る

嚴寒の平町

石城郡地方は五日朝俄に寒氣が襲來し平町の水道共同栓は全くしみかたまり午前九時ごろ迄全く使用が出来なかつたので水道課では非常に狼狽して早速防寒準備

要領のよいワン公

近來影も見せない

平町の野犬狩りは極めて不成績らしい

野犬狂犬撲殺デーの平町等では一匹二十錢で買上げるといふので珠數つなぎにされたワン公が役場前あたり

廣場を

賑はすものと見られてゐたが意外にも二百頭以上もゐたらうと思はれた野犬は當日蔭も見せずたゞ失業者らしき野犬狩りをする人々が大路小路を平素のワン公の如く血眼となつてウロウロしてゐるのを見るだけで

講演會

を開いたり宣傳ビラまで撒布した撲殺デー第一日は僅かに二三頭をものにしたに過ぎず極めて不成績だつた

明日の天気

七 日

今夜は北東の風が西に變り幾分良き方に向ひ明日は北西の風小雪模様

- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 榮養料理「キヤベツまぶし」榮養研究所
- 前九、三〇 (子供の時間) 唱歌と童謡 J.O.A.K 唱歌隊「イモ(一學年)」「ロ時計の歌(二學年)」「冬の夜(三學年)」「近江八景(四學年)」「ホ冬景色(五學年)」「國産の歌(六學年)」
- 二、子供のテキスト特選 童謡、イ、J.O.A.K 小口吉太郎詞橋本邦彦曲、ロ、きれいなテキスト鈴木榮

坑夫日當制

極端な生活苦

石城郡内の各炭礦夫は日當制度になつたので収入が激減し最低給一日の報酬は辨當持三十錢位であり一ヶ月

元警視廳巡查が

二連發銃で自殺

腹部に當て、引金をひく

原因は未だ不明

腹部に當て、引金をひき血沙に染つて悶倒家の者が駆付けられた時には既に絶命して如何とも爲し難く原因

- 「國際労働機關の使命」國際労働局東京支局長淺利順四郎
- 正午 時報 氣象通報
- 後三、〇〇 ニュース
- 後三、三〇 掛合嘶「鬼ヶ島」青柳燕之助、橋ノ圓十郎
- 後三、一〇 二紗琴「一、隅田川 唄藤舎芦染、三絃琴藤舎芦水、同藤舎芦雀同藤舎芦智恵一、松の壽唄藤舎芦水其他
- 後一、四五 ハーモニカ合奏 宮田ハーパーモニカバン 指揮相原考祥 宮田東峰
- 後二、二〇 運動競技「ラグビー」蹴球大會狀況「明治神宮外苑競技場より中取調への爲め平署より檢視官出張した

炭礦事務所の

壁の中に雷管

六本を塗り込む

五日午後一時頃石城郡勿來町元大日本炭坑舊勿來坑長屋を取毀し中の大工岡部留一郎外一名は舊事務所の壁の中に櫻印ダイナマイトと導火線、雷管が各々六本塗り込んであるのを発見した

殖えた刑務所行き

罰金額だけ

体で返さうと

底知れぬ不景氣から幾多の呪はしい悲惨事を生んだ昭和五年も愈々師走に入り早くも歳末のあわただしさを感ぜさせてゐる俸給生活者、商人、農民

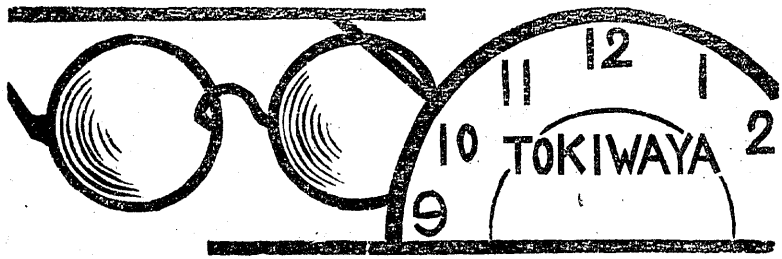
相馬たより

中村郵便局にては年賀郵便を昨年度歳末の通り引受約十五万枚位を豫想し配達を三人増にして例年の通り一月三日間は一回宛の配達であると

専門眼科醫師擔任

無料検眼

無料検眼券 御利用下サイ



信用アリ正確味萬點ノ時計 御客様本位ノ眼鏡部

常盤屋時計店 電三三九

前戸江

うなドン 八十錢以上
かばやま 壹圓以上
大勉強仕出迅速致升

鳥料理 平館隣り
鰻蒲焼 魚 榮
電話四二四番

花柳科専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際
電話三〇九番

むさ小鳥と

鳥肉は

電話二八六番へ

時節から御客様のお望みに
添ふ様御勤め致します
良い肉安く賣る店

鳥 菊
平南町

鐵道省御用

金光堂時計店

平五丁目
電一九五

目種業營

諸器械 醫理科器械、時計
修繕 蓄音器、眼鏡、萬年
筆、鉄類、カミソリ
家庭用電氣器械
時計修理は特別奉仕
特許 (萬年食器) 特約販賣
(萬年漆器)

萬年堂

一戸善助

イワキサロン

電話三五二番

平町田町

御希望の方は履歷書持參
午後一時より御來店を乞ふ

婦人給仕五名募集

容姿端麗にして
相當教養ある方

年齢二十才以上三十才迄素人も可



東京橋場射撃
捕物おぼえ

高橋の死 (其一)

文久二年七月二十五日の晩は、
晴れ渡つた空に無数の星が、東西
南北に散り飛んで、天の地を照ら
は何か彌家に大勢の起る前であつ
たとして、江戸市中の人心をおびえ
におびえさせた。
其日の事である。集お千代
は深川に居り、子供の徳松を
伴に連れて行つたが、下町橋場手前
へ來ると橋の上一杯の人立ち。
『お千代、お千代、お千代、お千代』
と徳松は首を延べながら騒ぐ。
七月と云つても残暑はまだ厳し
かつた、徳松の顔には汗が一粒流
れて、其汗が強い日光にキラキラ
光るやうに思はれる。



『何れかあつたのだらうよ、
今に分る行つて見れば...』
お千代は格別急がうともしなかつ
た。
夫れでも徳松は家裏へ、徳松
事があれば、何か手探の端くれ
でもなりはしないか、又何かあつ
たのだらうかとの好奇心も手探つ
て、汗をふき、足を早く出し、
『お千代、お千代、お千代、お千代』
と徳松は首を延べながら騒ぐ。
七月と云つても残暑はまだ厳し
かつた、徳松の顔には汗が一粒流
れて、其汗が強い日光にキラキラ
光るやうに思はれる。

て總は命用御の物刷印
番〇三六話電 會株式刷印日每警常

學生外套特賣

酷寒。強雨。耐生地
型仕立 100パーセントの
黒色外套 特價提供
中學用(極上)8,500錢
小學用(同)5,500錢
全部頭巾付

平二 電 203

なかや洋服店